

平成21年12月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

■次の世代に里山の風景を残したい

南加賀支部【塔尾地域資源保全会】

私たちの加賀市塔尾町地域は、一向一揆の時代「城」(寺院)があった史跡が残っており、少なくともその頃より変わらない風景、田んぼを維持し続けて来たのだと思います。しかし、最近の何十年間で農業を取り巻く情勢が大きく変化してしまい、農家の離農も進んで町内の用水路を含む様々な施設の維持管理が難しくなり、山林が荒れ、田んぼや畑の耕作放棄地が目立つようになっておりました。ここ何年かの間にも追い打ちをかけるように猪を始めとする鳥獣の被害も加わり、耕作を止めるかという声も出ていました。

そんな中、我々も担い手農家を軸に営農組合を立ち上げたりこの環境保全事業にも参加し、なんとか少人数になっても町内の維持管理が継続して行けるように協業化を進め、農道脇に花を植えたり、子供達といっしょに田植え体験や稻刈り体験をしたりして、子供達にも非農家の方たちにも農業を、この里山に関心を持ってもらい互いに助け合いながら、家の脇に清らかな水が流れ小鳥のさえずりで目を覚ます(時々鳥の声)この暮らしを、この風景を、守ってゆかなければならぬと思っております。

昨年3月の里山・水・土シンポジウムにて教授が里山の生態系を残すことが日本の原風景を維持する事だとおっしゃっておられました。今年も、稻刈りが終わって電気柵の通電を止めた途端、あちこちで猪が畦を壊し側溝を埋めていますが、私たちは、それに負けずに次の世代にこの里山の風景を残していくことを考えております。



■地域で取り組む環境負荷の低減農業について

奥能登支部【金付川原用水】

珠洲市若山町出田地域における水利は、若山川を源流とする金付川原用水と細越山等を集水域とする3箇所のため池が中心で、各水源には多様な動植物が確認されています。

化学肥料・化学農薬の50%削減や、たい肥等の有機資源の循環利用を行うことにより環境負荷の低減に努めることで地域の自然環境保護に取り組んでいます。



■小学校と連携した生き物調査

県央支部【いなほ会】



津幡町川尻のいなほ会では昨年度同様、近隣の小学校を対象に生き物調査の学習会及び、現地調査を実施しました。

6月10日、事前学習会では川尻の環境等について勉強し、みなさんとても熱心に聞き入っていました。また16日には水田魚道の設置箇所にて生き物調査を行い、児童はひざまで水に浸かり、フナやコイ、ナマズなどをタモですくい上げ歓声を上げていました。

調査の結果、9種類の生物を確認しました。

この体験を通じ、地域の環境や生物への興味を持ってもらえたものと思っています。今後も継続して調査を行っていきたいと思います。

■活動が広げる地域の輪

柳瀬（やなせ）地区は、宝達志水町北部の羽咋市に隣接している農村地域です。

この地域は、数年前には場整備が行われて大区画水田となり、大部分の農地が担い手によって耕作されています。

そのため以前に比べて地域農業に関わる機会が減り、農業に関心がない人の増加が懸念され、地域の農地や自然環境をどのように維持保全していくのかが課題でした。

こうした中、農地・水・環境保全活動では、活動の輪を広げることに重点を置くことにしました。

たとえば、老人会との花壇造り、子供会との地域内のゴミ拾い、遊休農地への菜種の植栽などを実施し、できるだけ多くの方に参加してもらえるように心がけました。

おかげで最近では、農業未経験の壮年団員から野菜作りに挑戦してみたいという意見も出るなど、少しずつ農業に関心を持つ方もでききました。

柳会では、こうした取り組みを通じて、地域の輪を広げる活動を続けていきたいと思っています。



【事務局からのお知らせ】

11月18日(水)に行われました農地・水・環境保全向上対策推進大会には多数のご参加をいただきましてありがとうございました。

本年度は、体制整備構想（案）の作成があります。地域における資源や環境を適切に保全し向上していくために必要と考えられる体制や活動内容について地域で話し合い、将来にわたり充実した活動が行なえるよう、構想（案）を作り上げてください。

また、引き続き、各地域の活動紹介にご協力お願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹